

# 第一部会 審議資料

資料 1 - 1

(事業名) 八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業

部会審議項目(7) 大騒日電風景史 (□は終了)

(環境影響評価の項目) 騒音・振動 (選定した項目) (年月日) 平成 29 年 9 月 19 日

項目	環境影響評価書案	環境影響評価書案 関連頁
現況調査	(1) 調査事項及び選択理由 (2) 調査地域 (3) 調査方法 (4) 調査結果	P111～P127
予測	(1) 予測事項 (2) 予測の対象時点 (3) 予測地域及び予測地点 (4) 予測方法 (5) 予測結果	P128～P141
環境保全のための措置		P142
評価		P143～P146
都民の主な意見	別紙1のとおり	
関係区長の意見	別紙1のとおり	
項目検討の内容	(1) 検討年月日 平成29年9月5日 (2) 担当委員 町田 信夫 委員 (3) 検討結果 意見あり (別紙2のとおり)	

## 都民の主な意見

現在、東京一極集中により、都内では既に交通渋滞が慢性化しており、どこかで小さな事故が起きただけでも広範囲で大渋滞に陥るなど、交通インフラの能力をはるかに超えた状態にあります。再開発により東京一極集中がさらに進み、交通量が増加すれば、都内の広い範囲で、交通渋滞・大気汚染・騒音などの問題がさらに深刻化することが想定されます。

## 関係区長の意見

### 【中央区長】

工事の施工中、建設機械の稼働に伴う騒音・振動、工事用車両の走行に伴う騒音・振動については、環境基準値等を下回っているが、計画地周辺では同時期に他の開発事業と輻輳することから、これらの更なる低減に努めること。

### 【千代田区長】

工事期間中の周辺道路の交通状況を把握し、適宜工事車両の通行による交通煩雑のための適切な対策を図ること。

また、工事車両の通過ルートについては、関係機関と十分協議し、周辺の交通渋滞および沿道への騒音の防止に努められたい。

項目：騒音・振動

意見	意見の取扱いについての事務局案
<p>工事用車両の走行に伴う道路交通騒音・振動の予測において、本事業による増加分はわずかであるとしているが、計画地に近接して、同時期に複数の開発事業による工事が計画されており、工事用車両が集中することによる騒音・振動の影響が懸念されていることから、周辺開発事業者と調整を図るなどの環境保全のための措置を徹底すること。</p>	<p>指摘の趣旨を答申案に入れる。</p>

# 第一部会 審議資料

資料 1 - 2

(事業名) 八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業

部会審議項目(7) 大騒日電風景史 (□は終了)

(環境影響評価の項目) 電波障害 (選定した項目) (年月日) 平成 29 年 9 月 19 日

項目	環境影響評価書案	環境影響評価書案 関連頁
現況調査	(1) 調査事項及びその選択理由 (2) 調査地域 (3) 調査方法 (4) 調査結果	P167～P172
予測	(1) 予測事項 (2) 予測の対象時点 (3) 予測地域 (4) 予測方法 (5) 予測結果	P173～P177
環境保全のための措置		P178
評価		P178
都民の主な意見	なし	
関係区長の意見	別紙のとおり	
項目検討の内容	(1) 検討年月日 平成29年9月8日 (2) 担当委員 小林 一哉 委員 (3) 検討結果 意見なし	

## 関係区長の意見

### 【中央区長】

- 工事の施工中だけではなく、工事終了後にも本開発事業が原因と認められる電波障害について、対策に努めること。
- 工事車両、電波障害、風環境、景観その他環境影響についての苦情、問合せや相談に対して受付窓口を一本化し、苦情等に対して速やかに対応すること。

### 【千代田区長】

評価書案のとおり対応されたい。

# 第一部会 審議資料

資料 1 - 3

(事業名) 八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業

部会審議項目(7) 大騒日電風景史 (□は終了)

(環境影響評価の項目) 史跡・文化財 (選定した項目) (年月日) 平成 29 年 9 月 19 日

項目	環境影響評価書案	環境影響評価書案 関連頁
現況調査	(1) 調査事項及びその選択理由 (2) 調査地域 (3) 調査方法 (4) 調査結果	P231～P235
予測	(1) 予測事項 (2) 予測対象時点 (3) 予測地域及び予測地点 (4) 予測方法 (5) 予測結果	P236
環境保全のための措置		P237
評価		P238
都民の主な意見	なし	
関係区長の意見	なし	
項目検討の内容	(1) 検討年月日 平成29年 8 月 28 日 (2) 担当委員 寺島 孝一 委員 (3) 検討結果 意見なし	